

1. 調査報告概要表

[認知症対応型共同生活介護用]

作成日 平成 19年7月26日

【評価実施概要】

事業所番号	2792500015
法人名	社会福祉法人 池田暁明館
事業所名	グループホームポプラ神田
所在地	池田市神田1丁目18-24 (電話)072-752-8123
評価機関名	社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会
所在地	大阪市中央区中寺1-1-54 大阪社会福祉指導センター内
訪問調査日	平成19年7月21日

【情報提供票より】(平成 19年 7月 1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 18年 5月 1日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	13人	常勤	11人, 非常勤 2人, 常勤換算 12人

(2) 建物概要

建物構造	重量鉄骨 造り 3階建ての 2階 ~ 3階部分
------	----------------------------

(3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	70,000円	その他の経費(月額)	約30,000円	
敷金	有 (300,000円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (400,000円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,500 円			

(4) 利用者の概要 (平成 19年 7月 1日現在)

利用者人数	18名	男性	6名	女性	12名
要介護1	8名	要介護2	4名		
要介護3	3名	要介護4	3名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢	平均 83.8歳	最低	71歳	最高	94歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	協立病院
---------	------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

「家庭的な雰囲気の中、生きがいを感じながら、自立して生活できる暮らしを」の理念が管理者以下現場にも浸透して、利用者の活動的な生活が実現できています。
 1人ひとりの思い・希望を尊重し、個別ケアに積極的に取り組んでいます。利用者と共にゴルフや温泉に行ったりする等、今までの暮らしが継続でき、生き生きとした生活を支援しています。
 職員間のチームワークもよく職種・職域の壁がなく、いいチームケアができています。
 地域に向けて、食事会を実施するなど取り組みが始まっています。これから地域の信頼がより深まることが期待できます。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連科目:外部4) 今回は第1回目の評価です。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 評価を受審するにあたっては、会議において説明がされています。自己評価は管理者とリーダーが職員の意見も聞きながら協議して記しています。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議はまだ立ち上げられていません。現在、さまざまな人たちに委員を委嘱すべく、話し合いを続けています。
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 家族に対して管理者やリーダーはいつでも意見を聞く姿勢にあることを十分説明しています。また、面会時にゆっくり話を聞くことや、時には電話で情報交換しています。受け付けた意見は記録に残されており、その対応も丁寧で、かつ適切に行われています。家族からの意見、対応に関しては全職員にも周知されています。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 当グループホームは別の法人が運営していたものを約1年前に引き継いでおり、地域への取り組みは積極的に行う方針です。地域の理解を図るためにお食事会を開催し、少しずつ参加人数が増えてきています。地域の民生委員とは連携がとれています。今後は地域行事にも利用者が参加できるようにしていきたいと考えています。

2. 調 査 報 告 書

(部分は重点項目です)

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「家庭的な雰囲気の中、生きがいを感じながら、自立できる暮らしを」という、地域密着型サービスの役割を意識した理念が策定されています。理念が利用者や家族、来訪者にも周知されるように、ホーム内に掲示するとともに、重要事項説明書等にも明記することが期待されます。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	グループホームの理念を職員は理解し、日常の業務に活かすべく取り組んでいます。管理者は会議などにおいて、常に理念を立ち返って行動しています。 ホーム内には、法人の理念を掲示しています。理念を具体化するための方針・目標を明文化し、職員が日常的に目にする場所に掲示されることが期待されます。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
3	5	○ 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに務めている	食事会等の地域交流会を開催し、参加人数が増えてきています。そのため地域への理解が少しずつ広がっています。地域の行事には今後、積極的に利用者と共に参加する予定です。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○ 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	今回の評価にあたっては会議中に職員への説明を行っていますが、理解と認識が不十分なのが現状です。自己評価は、管理者とリーダーが職員の意見を聞きながら行っています。	○	職員一人ひとりが評価の意義を十分理解し、積極的・主体的に自己評価に関わることによって、今後の改善に結びつけることが求められます。
5	8	○ 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は現在設置されていません。委員に委嘱をお願いしている段階です。	○	運営推進会議は地域との関わりにおいて、重要な役割を果たしますので、1日も早く設置されることが求められます。そのためには早急に規定を作成し、民生委員、利用者や利用者家族などで構成することが求められます。
6	9	○ 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会づくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	池田市高齢介護課の担当者とは連携を密にとり、事故報告をはじめ、グループホーム内の種々の報告や相談をしています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族には毎月、来月の行事案内をし、参加を呼びかけています。その際、利用者の様子を書くこともあります。電話や面会時には、ゆっくり家族と情報交換をしています。 新規採用の職員は家族の面会時に紹介しています。法人発行の広報誌は年4回配付していますが、今後はグループホーム独自の広報誌発行も検討しています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情や意見は家族から気軽に述べてもらえるように十分説明しています。 苦情は記録に残し、改善や対応、家族への説明等適切に行われています。職員への周知徹底も行っています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	グループホームが開設して1年、基礎作りの段階ですが、法人内異動や退職は少ないとはいええない状況となっています。 法人内異動についての方針は策定されていません。	○	認知症の利用者にはなじみの関係が大切なことに鑑み、事業者側の都合による法人内異動や退職を最小限に抑える努力が求められます。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内には研修担当者を置き、研修計画を立てて実施しています。 新人研修、中堅フォローアップ研修、リーダー研修があり、対象者ごとに行われています。 法人トップには、職員のレベルアップを図るという強い意志のもと取り組んでいます。 外部研修の情報も積極的に提供し、意欲ある職員の受講を支援しています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	池田市地域事業者会議のグループホーム部門に参加しています。グループホーム連絡協議会等ネットワークには加入、参加していません。また近くの同業者との交流もまだ行っていません。	○	グループホームの管理者のみならず、職員一人ひとりが、自身のグループホームに閉じこもることなく、他のグループホームと気軽に交流して、学習会や悩みの解消の場にする取り組みが求められます。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用の意思がある利用者や家族には、試し利用の希望があれば対応しています。最近利用開始された利用者は、1週間の体験をされ本人も家族も納得して利用されるようになりました。 パンフレットに「体験利用可能」等紹介し、利用者が安心、納得して利用していただく取り組みの継続が期待されます。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は利用者が長い人生を生きてこられ、さまざまな体験を持った人という認識で、教えていただく姿勢をもっています。職員はゴルフの好きな利用者からゴルフを教えてもらっています。また利用者は食事の配膳・下膳、食器洗い、掃除、花の水やり等の役割を果たしており、利用者と職員が共に支えあう生活を営んでいます。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用開始にあたっては医療情報、日常生活動作（ADL）、家族構成等の情報を収集し、記録されています。その際家族や利用者から希望を聞き取っています。今後は日々の関わりの中で利用者一人ひとりの生活歴などを詳細に把握し、記録に残すとともに、介護計画に反映することを期待します。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	個別ケアを実践するための介護計画を作成しています。介護計画が職員間で共有され、ケア実施記録と連動しています。 利用者・家族への説明を行った上で、署名・押印をもらっています。	○	カンファレンスは、本人をよく知る家族や関係者とともに本人本位で話し合い、意見・要望を出し合い、記録に残すことが求められます。 介護計画の職員間での共有はできているようですが、確認のサインを残すことが望まれます。
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	援助項目別に丁寧な評価が記録されていますが、次の介護計画への反映が不十分なものもあります。状態の変化があった場合には、介護計画の見直しを行い、利用者の変化に応じた介護計画を作成しています。	○	定期的な見直し、状態変化の際の見直し、いずれの場合も介護計画の見直しの際にはアセスメントの実施とケース会議の開催が求められます。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援（事業所及び法人関連事業の多機能性の活用）					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々 の要望に応じて、事業所の多 機能性を活かした柔軟な支援 をしている	家族の都合がつかない場合の 通院介助、外出への付き添い など、生活の継続への支援が 行われています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援の協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切 にし、納得が得られたかかり つけ医と事業所の関係を築き ながら、適切な医療を受けら れるように支援している	利用者がそれぞれのかかり つけ医師で引き続き医療が受 けられるように、契約時に受 診状況を聞き取り、利用者一 人ひとりの希望を尊重した支 援を行っています。 協力医療機関があり、夜間や 緊急時の対応体制も整備され ています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方 針の共有 重度化した場合や終末期のあ り方について、できるだけ早 い段階から本人や家族等なら びにかかりつけ医等と繰り返し 話し合い、全員で方針を共有 している	現状では、重度化や終末期の 対応はしていません。このこ とを、契約前に家族に説明し ています。 今後の対応について、検討し ていく予定になっています。そ の際には、利用者や家族のニ ーズを聞き、検討されること を期待します。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援 (1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者の尊厳に配慮した声かけ・対応を行っており、会議等で職員への徹底を図っています。 個人情報保護規定が策定され、ケース記録等は鍵のかかるロッカーに保管されており、個人情報の保護の徹底が図られています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日課や決め事はなく、利用者のペースに合わせた生活になっています。 個別ケアに積極的に取り組み、利用者一人ひとりの希望を実現できるよう工夫しています。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者と職員全員と一緒に食べて、食事を楽しんでいます。 献立は本部で作成し、デイサービスの厨房で食事作りをするシステムになっています。 おやつ作りや、1ヶ月に1回位の割合で、利用者と食事作りを行っています。	○	毎日の食事は利用者にとって大きな楽しみでもあり、何が食べたいか、何を作ろうかというのは、生活の張りともなるため、献立づくりと調理にはなるべく利用者が参加できるように取り組むことが求められます。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本は2日毎ですが、希望があれば毎日でも入浴できる体制になっています。時間も職員の夜勤帯以外は、利用者が入りたいときに入浴できます。 同性介助の希望があれば、対応することになっています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	花の水やり、ホーム内の掃除等、利用者が生活に意欲をもってもらおう働きかけと支援を行っています。 利用者の希望を聞き取り、職員間で共有しながら支援しています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	「利用者の活動的な生活を」という自立支援を目標にし、積極的に取り組んでいます。毎日の散歩や買い物等、外出の機会は多くあります。 併設のデイサービスや本体の特別養護老人ホームの行事への参加の機会も多くあります。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中 玄関に鍵をかけることの弊害を理解し ており、鍵をかけないケアに取り組ん でいる	エレベーターは自由に使え、玄関には施錠は していません。 身体拘束もなく、身体拘束廃止委員会も毎月 1回開催されています。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜 を問わず利用者が避難できる方法を身 につけ、日ごろより地域の人々の協力 を得られるよう働きかけている	災害時対応マニュアルが作成されています。 非常口もいつでも開けられる状態になってい ます。 非常用の食品・水も用意されています。しか し避難訓練が未だ実施されていません。	○	避難訓練は8月実施の予定になっていま すが、年2回の避難訓練が求められま す。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一 日を通じて確保できるよう、一人ひと りの状態や力、習慣に応じた支援をし ている	食事量・水分摂取量の記録がとられており、 一人ひとりの把握ができています。 献立は同法人内の栄養士が立てています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	食堂以外にもくつろげるコーナーがつけられており、居心地のよい空間作りへの工夫がされています。 ホーム内は明るく、穏やかな雰囲気になっています。 1階にはウッドデッキがあり、花壇、藤棚等で自然に恵まれており、ベンチも配置されています。 訪問中も心地よい表情で過ごす利用者の顔に会うことができました。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	タンスや椅子の馴染みの家具・家族の写真等、その人らしい居室づくりへの工夫がされています。 一部、本人の持ち物が少ない居室もありましたが、家族の協力が得られない場合でも、馴染みの環境づくりの意義など家族に理解を求め、居心地のよい環境づくりにさらなる工夫を期待します。		